

2年B組 英語科学習指導案

授業者 多田 央子 藤村 祥子

- 1 単元名・教材名 PROGRAM6 A Work Experience Program (SUNSHINE ENGLISH COURSE2)
- 2 本時の目標 基本表現“I want to 動詞の原形”や“I would like to 動詞の原形”を用い、将来の夢について気持ちを込めて相手に伝えることができる。
- 3 本時の流れ 本時1/2時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 5分	1 英語の歌 2 デモンストレーション	・目指したい姿をイメージしながら目標確認できるようにさせる。	
展開 43分	3 課題Ⅰの提示(板書) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">10年後の夢や将来したいことをイメージしながら表現しよう</div> 4 基本文の口頭練習やゲーム(ペア・個人) 5 課題Ⅱの提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">柳葉敏郎さんに感謝と将来の夢を伝えよう</div> 6 ビデオレター原稿の作成・話し合い(グループ) 7 発表練習(個人) 8 発表練習・表現の工夫(グループ) 9 発表本番・ビデオ撮り(コの字) 10 英語の歌・ビデオ撮り	・全員が自信を持って言えるようになるために何度も練習させる。 ・丁寧な言い方にも挑戦できるようにするため敬語表現“I would like to 動詞の原形”についても言えるようにさせる。 ・感謝や希望の気持ちを込めて言えるようにするため、4人グループで話し合い、内容を創意工夫させる。 ① パフォーマンス ② 表情・ジェスチャー ③ 発音練習や強弱の確認(伝えたいことを強調して読ませる)	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 基本的な英語を用いて、思いを込めながら御礼の気持ちを表現したり、将来の夢を伝えたりする活動に積極的に取り組もうとしている。
終結 2分	11 本時の振り返り 今日の学習で分かったこと、できたことを各自振り返る。(自己評価カード記述)	・自分の考えをまとめるために、本時の学習で考えたことを振り返らせる。	

4 指導にかかる思い

I want to 動詞の原形の使い方を知るとともに、基本文を機械的に言うのではなく、自分の思いや気持ちを込めて相手に伝える体験をさせたい。